

バウビオロジー 25の指針

バウビオロジーは、自然を範とする健康な家、持続可能で美しくつくられた生活環境のための判断基準を包括しています。問われるのは建材、空間造形に加え、生態的、経済的、社会的側面です。

※日本語版は、ドイツ語版（オリジナル）からの翻訳です。

快適な室内環境

刺激をひきおこす素材、有害物質の使用を減らし、新鮮空気を十分に確保する

健康を損ねるカビ、酵母菌、バクテリア、塵埃、アレルゲンを回避する

無臭もしくは良い香りのする材料を用いる

電磁場、無線（ワイヤレス）通信を最小限に

暖房のために放射熱源を優先する

建材の選択

放射能（ラドン）のできるだけ少ない、自然素材、汚染されていない材料を用いる

断熱と蓄熱、表面温度と空気温度の調和のとれた関係に留意する

調湿性能をもった材料を用いる

新築（躯体）の湿気の放散に注意する

部屋の音響、遮音を最適にする（低周波も含む）

現実の諸条件のもと、判断基準がすべて充足されるわけではありません。考察の中心には、それぞれ個的に実現可能な枠内での最適化が求められます。

空間の造形

調和的なプロポーションと形態に注意を払う

見る、聞く、嗅ぐ、触れるなど感覚知覚がもたらす印象を支援する

自然に近い光のバランスと色に注意し、点滅のない照明（光源）を用いる

生理学的、人間工学的な認識に配慮したインテリアと家具を提案する

地域の建築的伝統や手仕事の技に敬意を払い、支援する

持続可能な環境の形成

エネルギー消費を最小限にし、再生可能なエネルギーを利用する

新築、改修にあつて、環境へのネガティブな影響を回避する

天然資源は有限であり大切に利用する。動植物を保護しつつ

地域固有の建築工法を優先し、エコ収支の観点から最もふさわしい材料や経済循環を選ぶ

質の良い飲料水に注意を払う

エコ・ソーシャルな生活空間

生活を支えるインフラデザインにおいて、バランスのとれた混合利用に配慮する：仕事場、学校、買い物、公共交通機関が近接するように

環境を保護しつつも、人間の必要をかなえる生活空間をふさわしくかたちづくる

地方や都市部のゾードリンクに十分な緑地を確保する

地産地消、自給自足を強化する。地域サービスのネットワークを促進し、需要者と供給者とを結びつける

できるかぎり廃棄物、汚染物質、放射線源、騒音の負荷を受けていない建設敷地を選ぶ

<https://baubiologie.jp/>



一般社団法人

日本バウビオロジー研究会

bureau@baubiologie.jp

〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町 460-1 前橋工科大学建築学科 石川研究室 気付



一般社団法人

日本バウビオロジー研究会

Baubiologie Institute of Japan, BIJ

住まいを住まう人の手に取り戻す

バウビオロジー（建築生物学）は、「家とは何か」という根本を問う学問です。建築の性能やデザインにとどまらず、人と自然、暮らしと環境の調和を追求し、生命や健康、心の豊かさまでを含めた“全体としての住まい”を考えます。数値や効率だけに頼らず、自ら感じ、考え、行動することを重視し、住まいを専門家まかせにせず「住まう人の手に取り戻す」ことを理念としています。

バウビオロジーは輝く「太陽」を内なる源としています。

Baubiologie hat strahlende Sonne als innere Quelle.

バウビオロジーは「支える・支えられる」関係を意識します。

Baubiologie ist dem Bezug zwischen Tragen und Lasten bewußt.

バウビオロジーは経済性・環境性・社会性の調和を目指します。

Baubiologie bringt Ökonomie, Umwelt und Gesundheit zur Harmonie.

バウビオロジーは人間愛に満ちた美しい空間を創造します。

Baubiologie schafft den schönen Raum, geprägt durch Menschenliebe.

特に大切な環境要素

温度 湿度

空気 電磁波

環境

経済 社会

持続可能性

健康

持続可能性 造形

バウビオロジー

日本バウビオロギー研究会について

バウビオロギー（建築生物学・生態学）的な方向を意識した住まいづくり、街づくりに関する研究、啓発及び教育普及活動を通して、環境医学的な健康の促進と、建築文化の健全な育成を積極的にい、居住環境全体を、バウビオロギー（建築生物学・生態学）的な観点から適切に維持し、健全に育むことを目的としています。

専門家「バウビオローグ BIJ」の養成

●バウビオロギー 通信教育講座

バウビオロギー通信教育講座は2年間（1クール8カ月×3）のカリキュラムです。テキストは全25巻・2000ページから成り、内容もバウビオロギー入門にはじまり、環境と立地、建築工法、居住生理学、建材と部位のエコ収支——など幅広いものです。より深化したテーマでの議論等を通して学びを深めていきます。



受講の流れ



1カ月に1冊ずつ送られてくるテキストを読み込み、自習することが基本です。テキスト巻末の確認問題を提出すれば、添削指導を受けることができます。

クールの最終週末にはスクーリング（オンラインが主体）が開かれ、2年間のコースの間に、3回参加します。クールごとの専門性にに応じて、複数講師が担当します。



第3クールのスクーリング最終日に筆記試験を行い、合格するとバウビオローグ BIJ に認定されます。

●バウビオローグの集い

通信教育講座を受講中の方、修了したバウビオローグの方を対象とした「バウビオローグの集い」を毎年実施し、お互いの活動報告やより深化したテーマでの集まりでさらなる学びを深めていきます。



受講生の感想はHPでご覧いただけます。受講の参考にしてください。

テキストテーマ

- 第1巻 バウビオロギー入門
- 第2巻 環境と住居の立地
- 第3巻 居住環境
- 第4巻 建築工法
- 第5巻 建材と部位のエコ収支
- 第6巻 木材防虫と住まいの害虫・菌
- 第7巻 生物学的建築材料学 / 建築の物性
- 第8巻 暖房設備
- 第9巻 給排水設備と節水の理念
- 第10巻 省エネコンセプト
- 第11巻 放射（電磁波）
- 第12巻 電気設備第
- 第13巻 空気と汚染物質
- 第14巻 騒音 - 遮音 - 建築の音響
- 第15巻 建築構造
- 第16巻 空間 - フォルム - 釣り合い
- 第17巻 居住心理学
- 第18巻 都市景観
- 第19巻 オープンスペース
- 第20巻 居住生理学と住まいの安全
- 第21巻 家具
- 第22巻 光と照明
- 第23巻 色彩と表面処理
- 第24巻 建築法規（当面、日本語版なし）
- 第25巻 バウビオローグの日々の実践

※HP から各巻の目次と「さわり」がご覧いただけます

受講案内

2年間で24万円（1クール8万円×3）
（24冊のテキスト、スクーリング費込み）
正会員の方は1割引、学生は2割引

バウビオロギーに関するセミナー、研究発表会

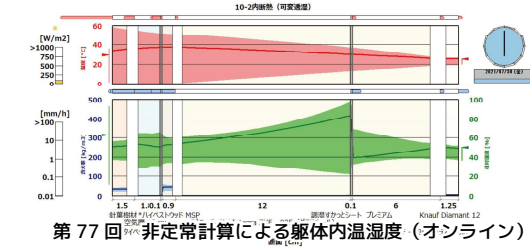
●定例セミナー

概ね年2～4回程度、国内外の専門家をお招きする定例セミナーを開催しています。最新の情報に触れられる貴重な機会です。

- ・第77回「非常計算でみる防露設計の勘所～夏型結露への対応～」 2026年3月
講師：辻 充孝氏（森林文化アカデミー 教授、日本バウビオロギー研究会理事）
- ・第76回「バウビオロギーの住まい 測ること・評価すること」 2025年12月
講師：エリザベト・ソルトナー氏（測定士・ドイツバウビオロギー研究所 IBN）
- ・第74回「高断熱住宅における冬季の低湿度の実態と室内空気質について」 2025年6月
講師：三田村 輝章氏（前橋工科大学 教授、日本バウビオロギー研究会理事）
- ・第64回「スペインにおける健康な暮らしと住まい—事例紹介を通じて—」 2021年12月
講師：ペトラ・イエーベンス＝ツィルケル氏（スペイン・バウビオロギー研究所 IBM 代表）
- ・第63回「シックハウスからヘルシービルディングへ」 2021年10月
講師：坊垣 和明氏（東京都市大学 名誉教授、日本バウビオロギー研究会理事）
- ・第61回「トルコにおけるバウビオロギーの運動と現状」 2020年10月
講師：アント・アクマン氏（トルコ・バウビオロギー研究所 YBE）



第76回 ソルトナー氏による電磁場測定の様子（軽井沢）



第77回 非常計算による躯体内温湿度（オンライン）

会報誌「バウビオロギー」の発行

年に2～4回発行している会報誌です。バウビオロギーに関する最新情報やバウビオローグの活動などを紹介しています。



Baubiologie Bau Biologie

「記事の閲覧にも制限はありませんが、複製は、複製の権利を侵害することです。」
発行所：日本バウビオロギー研究会
編集人：日本バウビオロギー研究会 編集長：三田村 輝章
発行所：日本バウビオロギー研究会 発行所：日本バウビオロギー研究会
発行所：日本バウビオロギー研究会 発行所：日本バウビオロギー研究会
発行所：日本バウビオロギー研究会 発行所：日本バウビオロギー研究会
発行所：日本バウビオロギー研究会 発行所：日本バウビオロギー研究会

2025.9 No. 74
日本バウビオロギー研究会
Baubiologie Institute of Japan

過去の会報誌の目次はHPからご覧いただけます。

入会案内

正会員：入会費：3,000円＋年会費 5,000円
賛助会員：入会費：3,000円＋年会費 30,000円

※会費は年度更新（初年度のは3ヶ月ごとの月割り）

- 正会員特典
 - ・会報誌「バウビオロギー」の送付
 - ・会報誌「バウビオロギー」の割引（一般価格1,000円の20%割引）
 - ・バウビオロギー通信講座の受講割引（2年間3クール分24万円の10%割引）
 - ・通信講座の継続講習（スクーリング）の割引
 - ・定例セミナーの無料受講が割引受講（定例セミナーごとに設定）
 - ・定例セミナーのオンデマンド受講（すべてのセミナーが対象ではありません）
 - ・各種専門家への相談サービス（簡易なものは無料）
 - ・資料ダウンロード（25の指針、測定指針など）
- 賛助会員特典
 - ・賛助会員の正社員に対して上記の正会員と同等の特典（会報誌送付は5冊）
 - ・ホームページに賛助会員のリストを掲載